

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、公表された一連の米経済指標がいずれも軟調な数字に留まったことを背景に対レアルでドル売りが優勢の展開となり、一時2.97台前半までドル安レアル高が進行した。5月ミシガン大学消費者信頼感指数は88.6と、前月の95.9から低下し昨年10月以来の低水準を記録(今回の下げ幅は2012年12月以来で最大となる)。また、5月ニューヨーク連銀製造業指数が3.09と市場予想を下回った他、4月鉱工業生産指数も前月比0.3%減と5ヶ月連続で低下した。予想を下回る経済指標の発表が続く中、マーケットの利上げ見通しも徐々に後退しており、初回の利上げ時期として6月を予想する声はほぼ聞こえなくなった。市場参加者の多くは9月利上げを見込んでいるものの、足許の状況を踏まえると12月に変更になる可能性も一部では指摘されている(その場合、レアルを含む新興国通貨に対してはポジティブな作用をもたらす)。財政緊縮策の方向性やインフレ率見通しといったブラジル国内の材料に加え、米経済動向も引き続きレアル相場の主要な牽引役となるため注意を要したい。

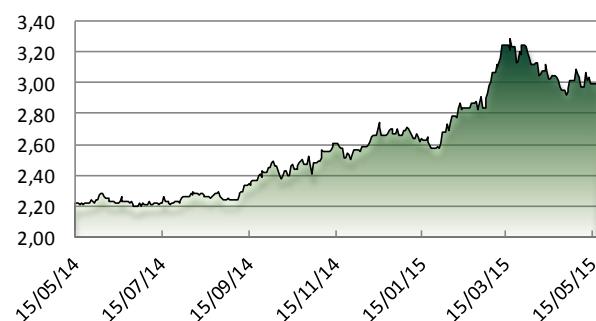
ブラジル政府は社会保障関連の歳出削減のため、遺族年金と傷病手当に関する法案の承認を下院から得たものの、年金受給開始年齢を遅らせるための法案承認を原案内容のまま獲得することは出来なかつた。そのため、ルセフ大統領は政府原案と下院修正案を同時に議会に提出し、見直しのための再協議を行う予定。現在の規則では、例えば15歳で年金貢献を開始した男性の場合、50歳で年金を受け取ることが可能であるが、政府原案ではこれを60歳に引き上げることを希望している。

マーケットデータ

Indicator	Unit	5月14日	5月15日	前日比	4月15日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	39,79	39,82	+0,03	39,33	+0,49
USD / BRL Spot	BRL	2,9942	2,9969	+0,0027	3,0287	-0,0318
USD / JPY Spot	JPY	119,18	119,25	+0,07	119,14	+0,11
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	56.657	57.249	+592	54.919	+2.330
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	230,3	230,4	+0,1	233,0	-2,6
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,57	12,45	-0,12	12,49	-0,04
DI Future Jul16 (金利先物)	%	13,77	13,67	-0,10	13,25	+0,42
3 Months US Dollar Libor	%	0,276	0,277	+0,001	0,274	+0,003
CRB Index (国際商品指数)	Index	231,8	231,5	-0,3	223,6	+7,9

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

